

食に関する状況調査表記入要項

① 知食生活能力

「ア 買い物」、「イ 調理」、「ウ 摂食」、「エ 火気管理」

「1」は、該当項目について自立している場合。一連の動作が介護なしに一人で終了できる。

「2」は、該当項目について部分的に介護してもらえれば何とかできる場合一人で行った場合にはできることはできるが、極端に時間がかかったり、仕上がりが不完全だったりする場合。

「3」は、該当項目について介護してもらえれば何とかできる場合。一人では一連の動作を遂行することが全くできない場合。

② 自立意欲

「食に関する一連の動作に対する意欲」を観察するもの。特に①の「2」や「3」に該当する場合は、具体的に記入する。

③ 食事の回数

1日2回以下の食事回数である場合は、いつ食べているか、朝、昼、夕のいずれかに○を付ける。

④ 一緒に食べる人

「2 あり」の場合は、朝、昼、夕のいずれかに○を付け、一緒に食べる人との続柄を記入。

⑤ 食事の支援

支援がある場合は2～4に○を付ける。支援がある場合の内容は、a～cの中から○を付ける。

⑥ 調理・食事設備

本人の状況に応じた台所環境、食堂の環境、調理器具の充足、熱源・水源・食料貯蔵設備等を観察する。不備・不足等がある場合は「2 不十分」に○を付け、何に問題があるのかを（ ）内に記入する。

⑦ 食材・食品入手先

「2 あり」の場合は（ ）内の入手先に（複数回答可）。

⑩健康状態

「食」に関する関連動作を営む上での問題の有無を記入する。「2 問題あり」の場合は、（ ）内のa～dに○を付ける。